

# New Adventures



## Contents

- 長期（半年・1年）留学制度の特徴…………… 2
- 長期留学をするために…………… 3
- 2026年度 長期留学応募資格…………… 4
- 長期留学へのスケジュール…………… 6
- 長期留学提携校紹介…………… 8
- 外国語担当教員の紹介／各種外国語試験情報…………… 13
- 短期留学（海外語学演習）紹介…………… 14
- 短期留学提携校…………… 15
- 留学体験 Student Report ～2024年度送り出し留学生帰国報告～…………… 16
- New Challengers 2025 ～2025年度、新たなチャレンジャーたち～…………… 18
- 私達の日本留学記 ～2024年度受け入れ留学生による留学感想～…………… 20

# 長期留学制度の特徴

(半年・1年)

提携大学との留学の形態は、「交換留学」「派遣留学」の2種類があり、留学期間は半年または1年です。駿河台大学では、この長期留学制度を利用する学生を、

**①学業、②費用、③留学手続き・生活の3つの面**からサポートします。

駿河台大学では、長期留学提携校として、世界7カ国/地域・10大学と交換・派遣留学協定を結んでいます。



駿河台大学の3つのサポート

1

学業のサポート

## 4年間で卒業することも可能

- ◆留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、**4年間で卒業することも可能**です。
- ◆留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者ならびに公認心理師資格希望者については、事前に担当教員に必ず相談をしてください。)

## 留学先の授業料を大学がサポートします。さらに、往復の航空券・奨学金を支給。

- ◆**留学先の授業料を大学がサポート**します。  
海外の大学の授業料は通常年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払えば**、留学先大学の学費を駿河台大学が負担します。  
※ただしパスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは自己負担となります。留学先にもよりますが、**年間150万円～400万円程度と**考えてください。
- ◆**往復の航空券を支給**します。  
渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20～60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。
- ◆**奨学金10万円を給付**します。  
「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

## 留学決定後から留学終了まで教職員がサポート

- ◆留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター委員(教員)がサポートします。
- ◆留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。
- ◆留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mail等を利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。
- ◆留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。

2

費用のサポート

3

手続き・生活のサポート

# 長期留学をするために

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、下記の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する**長期留学選考**に合格しなければなりません。  
なお、いきなり長期留学は不安もあると思いますので、まずは「海外語学演習」(P14)に参加してみることもお勧めします。

## 応募資格

I. **本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること**

II. **留学の時点で、本学において1年以上修学していること**

面接選考は、留学する前年度に行います(1年次・2年次・3年次生が応募できます)。

※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。  
※ロンドン大学SOASは、2年次生の派遣はありません。

III. **必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること**



## 【英語圏への留学】

大 学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP*	iBT		
ロンドン大学 SOAS	×	×	×	5.5	×
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	385	430	39	3.0	2級
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	385	430	39	×	2級
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	385	430	39	×	2級

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2023年4月以降に受験したものが有効です。  
※実用英語技能検定は、2022年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。  
\*TOEFL ITP試験は、Level.1のスコアのみが有効です。

## 【非英語圏への留学】

該当する言語担当専任教員からの推薦書が必要です

言語	推薦要件	担当教員
ドイツ語	本学でのドイツ語関係の授業の履修に加え、「海外語学演習」などでのドイツ語学習の経験があること、もしくはドイツ語検定(4級以上)を取得していることが望ましい。	小林将輝 / 明石真和
フランス語	選考時にフランス語検定4級に合格できる程度の能力があることが望ましい。	山下尚一
中国語	「中国語演習」、「中国語と文化」を履修し、HSK中国語標準検定3級に合格していることが望ましい。	葉紅
韓国語	延世大学はTOPIK4級、東西大学はTOPIK3級の取得が原則的に必要。	朴昌明

IV. **各学部の定める応募資格を満たしていること**

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。今年度の応募条件はP4-5の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。

公認心理師を志望している場合は、事前にFAに相談する。

2026年度 長期留学応募資格

2年次に留学(1年次応募)の場合

2025入学生

法学部

- a 1年次において40単位以上修得見込みであること
- b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
コース共通基礎科目	8単位

経済経営学部

- a 1年次終了時点において40単位以上修得見込みであること
- b 1年次必修科目のうち下記の8単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位

※上記以外の1年次配当必修科目の14単位(基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学入門Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位))についても、修得しておくことが望ましい。

メディア情報学部

- a 1年次終了時点において36単位以上修得見込みであること
- b 1年次配当科目のうち下記の必修科目を修得見込みであること

基礎教育科目群	8単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
外国語科目群	4単位	一般学生 英語表現Ⅰ・Ⅱ、第二外国語表現Ⅰ・Ⅱ 留学生 日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ
専門科目群	2単位	マルチメディア論

スポーツ科学部

- a 1年次生において40単位以上修得見込であること
- b 以下にあげる1年次必修科目を修得見込であること

基礎教育科目群	8単位	必修5科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ)
キャリア教育科目	2単位	キャリア基礎Ⅰ
教養基礎科目群	2単位	必修2科目(健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)
外国語科目群	2単位	第1外国語(留学生は4単位) 英語表現Ⅰ・Ⅱ(留学生は、日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ、) 第2外国語(留学生は該当なし) 第2外国語表現Ⅰ・Ⅱ
専攻科目群	9単位	専攻導入科目 必修5科目(チームビルディング、救急処置法、スポーツ科学入門A・B、スポーツとキャリア)
	1単位	専攻基幹科目(実技科目) 専門実技(体づくり運動)

心理学部

- a 1年次終了時点において34単位以上修得見込みであること
- b 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
当該外国語の1年次必修単位「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計4単位)	
心理学概論A・B	計4単位

3年次に留学(2年次応募)の場合

2024入学生

- a 2年次までに80単位以上修得見込みであること
- b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
データリテラシー演習	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
コース共通基礎科目	8単位

- a 2年次終了時点までに80単位以上修得見込みであること
- b 1、2年次必修科目及び専攻基礎科目のうち下記の26単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
選択必修外国語	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	8単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	4単位

※1、2年次配当必修科目の24単位(基礎数学(2単位)、プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(8単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学入門Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、データリテラシー演習(2単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位))については、修得しておくことが望ましい。  
※コース選択を意識して専攻基礎科目、専攻基幹科目を履修しておくことが望ましい。

- a 2年次終了時点までに72単位以上修得見込みであること
- b 1、2年次配当科目のうち下記の必修科目を修得見込みであること

基礎教育科目群	14単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、データリテラシー演習
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
外国語科目群	6単位	一般学生 英語表現Ⅰ・Ⅱ、第二外国語表現Ⅰ・Ⅱ、外国語発展Ⅰ・Ⅱ 留学生 日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ、日本語発展Ⅰ・Ⅱ
専門科目群	6単位	マルチメディア論、ソーシャルメディア論、メディア情報とキャリア

- a 2年次において80単位以上修得見込であること
- b 以下にあげる1、2年次必修科目を修得見込であること

基礎教育科目群	14単位	必修8科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ～Ⅳ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、データリテラシー演習)
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
教養基礎科目群	2単位	必修2科目(健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)
必修外国語第1外国語	2単位(留学生は6単位)	英語表現Ⅰ・Ⅱ(留学生は日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ、日本語発展Ⅰ・Ⅱ)
必修外国語第2外国語	2単位(留学生は該当なし)	第2外国語表現Ⅰ・Ⅱ
必修外国語選択必修外国語	2単位(留学生は該当なし)	いずれか1か国語(外国語発展Ⅰ・Ⅱ)
専攻科目群 専攻導入科目	9単位	必修5科目(チームビルディング、救急処置法、スポーツ科学入門A・B、スポーツとキャリア)
専攻科目群 専攻基幹科目	1単位	専門実技(体づくり運動)
専攻科目群 専攻発展科目 スポーツと教育コース	6単位	コース必修3科目(スポーツ生理学、スポーツ教育学、生涯スポーツ論)
専攻科目群 専攻発展科目 スポーツと健康コース	6単位	コース必修3科目(スポーツ測定法Ⅰ、健康とスポーツの医学A、労働衛生Ⅰ)
専攻科目群 専攻発展科目 スポーツと地域・社会コース	6単位	コース必修3科目(スポーツ人類学、スポーツマネジメント、スポーツツーリズム論)

- a 2年次終了時点において72単位以上修得見込みであること
- b 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点	2単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計4単位
データリテラシー演習	
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上	
地域科目群で、4単位以上	
当該外国語の必修単位「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論A・B	計4単位
心理学研究法科目で、「データ分析Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上	

細則

4年次に留学(3年次応募)の場合

2023入学生

- a 3年次までに110単位以上修得見込みであること
- b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア教育科目群(キャリア基礎Ⅰ・キャリア実践Ⅰ含む)	6単位
必修外国語科目	4単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a 3年次終了時点までに110単位以上修得見込みであること
- b 1～3年次必修科目及びコース科目のうち下記の44単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
選択必修外国語	2単位
キャリア教育科目	6単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	8単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	8単位
専攻発展科目	4単位

※1～3年次配当必修科目の26単位(経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学入門Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)、キャリア実践Ⅰ(2単位))については、修得しておくことが望ましい。

- a 3年次終了時点までに108単位以上修得見込みであること
- b 1～3年次配当科目のうち下記の必修科目を見込みであること

基礎教育科目群	4単位	メディアと情報資源、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ
キャリア教育科目群	4単位	キャリア基礎Ⅰ、キャリア実践Ⅰ
外国語科目群	6単位	一般学生 英語表現Ⅰ・Ⅱ、第二外国語表現Ⅰ・Ⅱ、外国語発展Ⅰ・Ⅱ 留学生 日本語総合Ⅰ・Ⅱ、日本語表現Ⅰ・Ⅱ、日本語発展Ⅰ・Ⅱ
専門科目群	18単位	プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、ゼミナールⅠ・Ⅱ、マルチメディア論、ソーシャルメディア論、メディア情報とキャリア

- a 3年次において110単位以上修得見込であること
- b 以下にあげる1～3年次必修科目を修得見込であること

教養基礎科目	10単位	必修7科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)
教養発展科目	4単位	プレゼミナールⅢ・Ⅳ
必修外国語科目	4単位	第一外国語ⅠAB・ⅡAB 第二外国語ⅠAB・ⅡAB
選択必修外国語科目	2単位	選択必修外国語ⅢAB
キャリア教育科目	4単位	キャリア基礎Ⅰ キャリア実践Ⅰ
専攻導入科目	13単位	スポーツ科学入門A・B、救急処置法、トレーニングサイエンス、ヘルスサイエンス、スポーツ文化論、チームビルディング
専攻基幹科目	16単位	運動生理学、スポーツの測定評価、スポーツ哲学、スポーツ社会学、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツ教育学、スポーツ史、スポーツ・マネジメント
演習科目群	4単位	ゼミナールⅠ・Ⅱ

- a 3年次終了時点において102単位以上修得見込みであること
- b 3年次終了時点において専攻科目群の未修得卒業要件単位数が12単位以下であること。
- c 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点A・B	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア実践Ⅰ」(計4単位)を含む6単位以上	
地域科目群で、4単位以上	
当該外国語の必修単位「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語発展Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論A・B	計4単位
心理学研究法科目で、「データ分析Ⅰ」(2単位)を含む6単位以上	
ゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位

# 長期留学へのスケジュール

4月～  
留学する  
1年以上前

Step 1

## 情報を集めよう。留学先を決めよう。

留学先を決めるときは、イメージだけで選ぶのではなく、留学先の国や大学についての情報も知っておいた方がよいでしょう。どんな国？各大学の授業はどんな様子？大学やキャンパス周辺の雰囲気は？寮やホームステイ先の住み心地は？勉強以外にどんなことができるの？などなど。「長期留学説明会」、「グローバル教育センターホームページ」、「交換留学生アンケート」、「ポタロウ」等で、情報を収集しましょう。

Step 2

## 長期留学の応募資格を充足しよう。

P4-5をよく確認して、応募資格を充足するように準備しましょう。GPAや修得単位も要件に含まれます。そのこともふまえ、しっかり履修登録をし、授業を受けるようにしましょう。特に英語圏への留学は一定の語学能力が定められています。選考書類提出時までには充足できるよう、計画的に準備しましょう。

6月～

Step 3

## 長期留学選考の日程を確認しよう。

長期留学選考は9月、11月、2026年2月の計3回行う予定です。留学先によって選考日が異なりますので注意してください。選考日程は、選考の2ヶ月くらい前に掲示発表します。

9月～

Step 4

## 長期留学選考を受けよう。

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。指定された期間内に必要書類を受け取り、必要書類を提出しましょう（締め切り厳守）。いずれの選考も書類審査と面接によって行います。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的は何か、などを明確に話せるようにしっかり準備しておくことがポイントです。

合格発表後

Step 5

## 留学手続き・渡航準備を進めよう。

選考の結果、交換・派遣留学生に内定したら、さあ、いよいよ留学に向けての手続きや準備が始まります。手続きは、グローバル教育センター委員（教員）がサポートをしますので、よく相談しながら準備を進めましょう。

【注意点】

留学の費用（主に現地滞在費）について、行き先にもよりますが、年間で150万円（アジア圏）～400万円（アメリカ、ヨーロッパ）程度が自己負担で必要になると考えてください。

翌年4月  
または  
翌年9月

Step 6

いざ出発！

departure!



## 情報の集め方

### A 長期留学説明会

駿河台大学の留学制度や留学先の紹介、長期留学選考の方法などを詳しく説明します。また、留学に必要な知識や選考に向けてどんな準備をしたら良いかなどのアドバイスも行ないます。留学に少しでも興味がある人は参加してみましょう。開催日が近づいてきたら、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）等でお知らせします。

#### 2025年度 第1回長期留学説明会

- 日程 4月24日(木)
- 時間 12:40~13:10
- 場所 グローバル教育センター
- 内容 長期留学制度の全体説明  
(詳しいことはポタロウと掲示にて確認をしてください。)



### B 国際交流イベント

留学先から帰国した駿大生、駿大にきている留学生との交流を目的としたものです。留学先の様子や文化や、生活の違いなど、積極的に話を聞いてみましょう。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観を広げるチャンス！



### C 留学リーフレット “New Adventures”

長期留学の選考情報や、留学した学生からの留学報告など、留学に役立つ情報が載っています。グローバル教育センターで配付しています。



### D 掲示板〈随時〉

選考情報や長期留学説明会・各種イベントの予定等はポータルサイト（ポタロウ）、またはグローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）にてお知らせします。マメにチェックをしてください！

### E オフィスアワー〈随時〉

外国語担当の教員は、外国語に関するアドバイスだけでなく、留学先大学に関する情報提供やアドバイスもしてくれます。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた時間です。教員ごとに曜日時間帯が異なりますので、まずはポタロウの「授業・履修」-「オフィスアワー照会」で、先生方のオフィスアワーをチェックしましょう！

### F グローバル教育センター ホームページ〈随時更新〉

留学・国際交流情報が充実！グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しましょう！

### G グローバル教育センター (第二講義棟5階)

長期留学説明会、留学体験報告会や国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。外国語学習の本や参考書もあります。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。

### H 交換・派遣留学生 アンケート

過去に長期留学をした学生から提出された留学アンケートのファイルが、グローバル教育センターの本棚にあります。先輩たちの留学体験談をぜひ読んでみてください。

### I 留学生との交流

留学生から聞いた日本に対する感想は、日本を知る良い機会です。また留学生の母国のことも聞け、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にいながら国際交流ができます。国際交流イベント等で積極的に声をかけてみましょう。

# 長期留学提携校紹介

※2020～2022年は新型コロナウイルスの為、送出国を中止しました。

駿河台大学では世界7カ国/地域  
10大学と交換・派遣留学協定を  
結んでいます。

英語圏



## グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国 (イギリス)

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland



送出実績人数

大学名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
ロンドン大学 SOAS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0

派遣留学

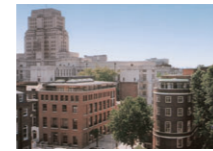


## ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

ロンドン

Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK



オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る。

基礎データ	創設:1916年(ロンドン大学は1826年) 学部:16Departments(アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など) 学生数:約5,000人
環境	ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	英語研修プログラム(English Language and Academic Studies [ELAS]) ●3か月または6か月のディプロマ(9月または1月開始)に参加する。 ●IELTS オーバーオール5.5(すべてのスコアが5.5以上)の英語力証明が必要である。 ●英語モジュール(4技能)、学術モジュール(週3回の授業、ポートフォリオがある。)で構成される。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合のみ利用可能。大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには賄い付きもあり。 ●SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし):£152-340/週 ●民間の学生用アパートの場合(食事なし):£225/週
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	9月～翌年3月

派遣留学



## カンタベリー・クライスト・チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

ケント州カンタベリー

North Holmes Road, Canterbury, Kent CT1 1QU, UK



ケント州最大の高等教育機関の一つで、ロンドンから電車で1時間程度の歴史的な街に位置する。学生は語学中心の留学か、語学+学部履修の選択が可能(後者の場合、申請前にIELTSの基準点をクリアしておくことが条件)。

基礎データ	創設:1962年 学部:法、経営マネジメント、人文、スポーツ、デザインなど13学部 学生数:25,000名以上(スタッフは約1,500名)
環境	イギリス南東部ケント州に位置するカンタベリーは、世界文化遺産のカンタベリー大聖堂があることで知られ、イギリス国内で最も治安が良い街の1つとして知られている。大学のキャンパスは、歴史的な街の中心に位置し、聖堂にもほど近い。中世の雰囲気を残した街並みが特徴的で、観光客も多く、気候もよい。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	●一般英語コース (General English) ●一般英語・IELTS準備コース (General English with IELTS Preparation) 午前中の授業は一般英語コースと同じ。午後は、IELTSに特化した writing や speaking 等のクラスで構成されている。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	●宿泊: ホームステイかキャンパス内・キャンパス付近の学生寮 ※ホームステイは時期により手配が難しい [ホームステイ] ※キャンパスまで30分以内の範囲 朝食とキッチン使用...£125~£118-195/週 [学生寮] キッチン共有、食事なし、ネット環境完備
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

英語圏



## アメリカ合衆国

United States of America



送出実績人数

大学名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	-	-	-	-	4	1	0	0	0	2	1

派遣留学



## カリフォルニア州立大学

イースト・ベイ校 California State University, East Bay

カリフォルニア州ヘイワード

25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.



風光明媚なサンフランシスコ湾東岸のヘイワード市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ている American Language Program で集中的に英語を学ぶ。

基礎データ	創設:1957年 学部:文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然科学部などの学士号課程、大学院(4課程) 学生数:約15,000人
環境	サンフランシスコ湾東岸に位置するヘイワード市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる“Speaking Partners Program”など、充実した補講制度もある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	American Language Program (ALP) 「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。 ①Intensive English Program (IEP) 週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は1クラス平均12名の少人数制。 【基礎科目】午前中は教室で、7つのレベルに分かれているWriting/Grammar, Listening/Speaking, Reading/Vocabularyをそれぞれ学ぶ。 【選択科目】午後は、“American Culture”、“Business English”、“Community Service”、“Hospitality Management”など、大学の初年次教育を意識した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。 ②Bay Area Experience] 担当教員から与えられた課題を5~6人のグループで協力し、Bay Area (サンフランシスコを中心とした地域)の様々な場所で体験学習する。 ③Visiting Student Program (VSP) 正規の学生が履修する一般科目を履修する。TOEFL71点またはIELTS6.0以上がプログラムに登録するための条件。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期での履修を目指す。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内の学生寮 ●1年(食費込み):US \$13,300 月々の生活費※参考 ●食費US \$100~500 ●通信費US \$0~50 ●交際費US \$100~500 (2024年度)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月～8月または3月～12月

派遣留学



## カリフォルニア大学

サンディエゴ校 University of California, San Diego

カリフォルニア州ラ・ホヤ

9500 Gilman Drive La Jolla, California 92093-0176



年間300日も晴れていると言われるほど天候に恵まれたサンティエゴに位置し、世界でもトップ50に入る名門校。広大なキャンパスにはユニークな建物が並び、近接した海岸ではサーフィンを楽しめる。世界中から集まった2,000人以上の留学生と共に、落ち着いたキャンパスライフを送ることができる。

基礎データ	創設:1960年 学部:医学部が世界的にも有名。その他、社会科学、情報技術、人文学など200以上の専攻からなる。 学生数:約33,000人
環境	カリフォルニア州サンディエゴ市に隣接するラ・ホヤ地区に位置している。キャンパスは広く、太平洋に臨むキャンパスは2,141エーカー(8.6平方キロメートル)におよぶ。(キャンパスツアーはゴルフカートのような乗り物に乗って移動した)。UCSDは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌の世界大学ランキングで34位(2022年)。研究大学として高い評価を得ている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	日常英語を流暢に話したり理解する能力を伸ばしたり、アメリカ文化に関する知識を深めたいという学生は、8週間英語プログラム「コミュニケーションと文化プログラム(Communication and Culture Program)」が最適。プレイメントテストの結果に応じて、自分に合ったレベルで授業を受ける。 ●月曜日から金曜日、8:30~15:20 ●8週間、週20時間(最初の週はオリエンテーション、履修登録) ●すべてのレベルに対応(全11レベル、1クラス6-18名程度) ●中核クラスでは流暢に話理解できるようになることをめざす。 ●日常英語/アメリカ社会と文化のコース ●幅広い選択科目。“American Music” “American Film” “Oral Presentation” “Idioms and Slang” “Pronunciation and Fluency” “American Culture” など ●アメリカ文化や英語学習を意識した14の選択コース ●2025年日程:春(3/3~5/2)、夏1(5/19~7/18)、夏2(7/28~9/26)秋(10/6~12/5)
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	●宿泊: ホームステイかアパート ●費用 [ホームステイ] 6ヶ月(2食込み):US \$7,800 [シェアアパート] 6ヶ月(食事なし):US \$7,800 月々の生活費※参考 ●食費US \$100~500 ●通信費US \$50~150、●交際費US \$100~300 (2024年度)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月～8月または3月～12月

非英語圏



ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany

送出実績人数

大学名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
ミュンヘン大学	0	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0

交換留学



ミュンヘン大学

Ludwig-Maximilians-Universität München

バイエルン州ミュンヘン  
Geschwister-Scholl-Platz 1, 80539 München, Deutschland



ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。

基礎データ	創設：1472年 学部：20学部(法、経済、経営、芸術、文学など) 学生数：約51,000人(留学生約5,400人)
環境	キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。
留学プログラム(参考)	大学の講義を受講できる。また、大学と提携しているドイツ語コース(2ヶ月)1回分を大学負担で受講できる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	学生寮(2024年度調べ) 寮費：€350~€500/月に加え、敷金(1回のみ)€300~€400程度が必要。 ※寮は3月1日から確保。入居が遅くても3月の1か月分の寮費が発生。 ※光熱費、インターネット費用含む。食事は無し。 保険：約€100/月+日本で入る旅行保険も加わる。 その他、必要経費として共済費約€130/学期。語学コースに参加する場合(2回目以降)、1回あたり€795がかかる。 年間の生活費として、寮費、保険、食費、通信費、雑費など全てあわせて最低でも€10,000以上は必要。 エネルギー費用の高騰や円安の影響を受け、2024年度の実績と比べて全体的に費用が上昇します。
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次)
派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月

非英語圏



フランス共和国

French Republic

送出実績人数

大学名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
アンジェ・カトリック大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

派遣留学



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l'Ouest

アンジェ  
3 Place André-Leroy B.P.10808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE



10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学校CIDEF(外国人留学生のためのフランス語コース)に在籍する。

基礎データ	創設：1875年 学部：神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。 学生数：約11,000人
環境	キャンパスは、ロワール川支流のメヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた典型的な地方都市アンジェ市にある。世界150以上の国から留学生を受け入れている。 1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より1,200名以上の学生が集まっている。大学や学生寮のパソコンを自由に使用でき、無料Wifiを利用できる。またホームステイでも無料Wifiの家庭を選べる。大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	9月：1ヶ月間、夏期コース(フランス語集中講座)を大学負担で受講。フランス人学生がチューターとしてつき、フランス人学生との交流もできる。 10月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	9月…ホームステイ(朝食+夕食はホームステイ、昼食は学校食堂)17万円 10~1月(半年間)…a) ホームステイ(朝食付+週3回夕食付、キッチン利用可)の場合は約37万円 b) 学生寮(月~金曜日：朝・夕食付、キッチン利用可)の場合は約48万円 10~5月(1年間)…a) ホームステイ(朝食付+週3回夕食付、キッチン利用可)の場合は約87万円 b) 学生寮(月~金曜日：朝・夕食付、キッチン利用可)の場合は約96万円(2024年例)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次)
派遣期間	9月~翌年1月または9月~翌年5月

非英語圏



中華人民共和国

People's Republic of China

送出実績人数

大学名	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
聊城大学	0	0	1	1	3	1	0	0	0	0	1

交換留学



聊城大学

Liaocheng University

山東省聊城市 中華人民共和国山東省聊城市湖南路1号



中国は世界を牽引する国の一つ。山東省聊城市に位置する聊城大学は広大なキャンパスを有する総合大学である。キャンパス内に宿舎を含む諸施設が揃っており、勉学や生活にやさしい。

基礎データ	創設：1974年 学部：25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか) 学生数：約34,000人
環境	聊城市は2000年以上の歴史を持つ文化都市で治安もよい。近年、大都市には薄れつつある中国らしさを肌で感じられる環境。大学には中国語教育センターが設置されており、教員が留学生のアカデミック・アドバイザーとして、サポートしてくれる。芸術系の音楽や絵画、書道、さらに体育系の授業も受講可能で、豊かな留学生活を送ることができる。
留学プログラム(参考)	外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	東キャンパスにある留学生専用の宿舎 ●二人部屋 ●キッチン、バス・トイレ共用、コインランドリー/4元 ●Wi-Fi(別払い) 月々の生活費 ●食費~600元 ●交際費~100元
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	2月~7月または2月~翌年1月、9月~翌年2月または9月~翌年7月

非英語圏



台湾

Taiwan

送出実績人数

大学名	24
国立台湾師範学校	0

派遣留学



国立台湾師範大学

National Taiwan Normal University

台北市大安区和平東路一段129号



教員育成から成長した伝統のある国立総合大学の一つ。1967年に設立された大学付属の国語教学センターで年間1,000名あまりの留学生が中国語を学んでいる。

基礎データ	創設：1967年 学部：教育学部、文学部、理学部、芸術学部、科学技術および工学、スポーツおよびレジャー学部など。学部ごとにさらに様々な学科に分かれている。 学生数：14,262人
環境	大学のキャンパスは台北市の中心部にあり、地元の人々は親切で治安のよい街。地下鉄やバスの利便性が高く生活しやすい。国語教学センターは世界中からの学生を受け入れ、中国語学習のプログラムが充実している。
留学プログラム(参考)	半年もしくは1年間台湾師範大学国語教学センターで受講する。ベテランの教員が少人数クラスで教える。語学力が規定のレベルに達した場合、正規科目の1科目を受講することができる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	大学に近い留学生宿舎に泊まる。三人部屋、NT \$10,222/月。二人部屋、NT \$15,333/月。 食費 NT \$9,000/月、交通費NT \$1,000/月 円安など為替の影響を受けて費用全般(2024年現在)が割高の傾向にある。
派遣人数	全学部から若干名
派遣期間	派遣期間 9月~翌年2月または9月~翌年7月



大韓民国  
Republic of Korea



送出実績人数

大学名	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
延世大学	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
東西大学	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0

交換留学



ヨンセ  
延世大学 **送り出し停止中**

Yonsei University

ソウル 134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea



プロテスタントの宣教師により設立。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学であり、「ない学部がない」と言っても過言ではないほどの数多くの学部・学科が存在する。

基礎データ	創設：1885年 学部：文学、経済学、経営学、理学、工学、生命システム学、神学、社会科学、法学、音楽学、生活科学、教育学、国際学、医学、歯学、看護学、薬学などの学部があり、さらに細かく学科が存在する。 学生数：約18,200人
環境	みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所の新村(シンチョン)にある。新村周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。 留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換(1対1で韓国語と日本語を教えあうこと)」プログラムに参加できる。また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。
留学プログラム(参考)	交換留学生向けの英語による授業と韓国語学が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1学期に履修登録しなければならない単位数は9~18単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学部の交換留学生対象韓国語学習プログラム(6単位)が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学力レベル別に授業が行われる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内のSKグローバルハウスやインターナショナル・ハウスなどの留学生向け学生寮などがある。エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。 学生寮は2人部屋で、1学期(15週)あたり800,000~900,000ウォン(約8~9万円)である。(2022年度)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月~6月または3月~12月、9月~12月または9月~翌年6月

交換留学



トソン  
東西大学

Dongseo University

釜山 47 Jurye-ro, Sasang-gu, Busan 47011, Korea



韓国第2の都市である釜山市内に位置する私立総合大学。経営、外国語、デジタルコンテンツ、映画芸術、映像マスコミなどの分野で高い評価を得ている。

基礎データ	創設：1970年 学部：経営、外国語、映像、メディア、社会福祉、観光、医療、スポーツなどの分野に学部・学科が存在する。 学生数：約9,700人
環境	大学は地下鉄最寄り駅の令井(ヨンジョン)駅から路線バスで5~7分程度であり、釜山の中心街である西面(ソミョン)にも地下鉄を利用するとスムーズに行ける。日本語学科があるため、日本人留学生と日本語を学習する韓国留学生との交流が積極的に行われている。近年の世界的な韓流ブームのなか、ITや放送の教育にも強みを入れており、放送設備や演劇舞台などユニークな施設も豊富である。
留学プログラム(参考)	韓国語で学ぶコースと英語で学ぶコースがあり、各々のカリキュラムが用意されている。本学と重複する学問分野(警察行政、経営・会計、日本語・日本文化、メディア[放送、通信、制作]、IT・デジタルコンテンツ、観光・ホテル、スポーツ等)を持つ。留学時は、日本語学科に在籍する学生と交流しながら韓国語と韓国文化に触れる学びが中心であり、関心のある専門講義を一部選択受講することも可能。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	1,200名が入居できる学生寮(原則として入寮可能)がある。2人部屋でバス・トイレ付(旧館は共同)。食事は共同キッチンで自炊となる。家賃は1学期(15週)当たり600,000ウォン(約65,000円)である。(2024年度)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月~6月または3月~12月、9月~12月又は9月~翌年6月

# 外国語担当教員の紹介

語学に関する質問は、語学担当の教員に聞いてみよう!

勉強などわからないことはオフィスアワーを利用して相談しましょう。各教員のオフィスアワーはポータルサイトで確認できます。(ポータルサイトログイン-「授業・履修」-「オフィスアワー照会」)

	教員名	担当提携校		
		長期留学	短期留学(海外語学演習)	
英語	海老澤豊(法学部教授)	-	-	
	和田忍(法学部准教授)	ロンドン大学 SOAS カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	
	増田珠子(経済経営学部教授)	-	-	
	L. Waller(経済経営学部准教授)	-	-	
	岩橋真知子(スポーツ科学部准教授)	-	-	
	T.Rucynski(グローバル教育センター准教授)	カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校 カリフォルニア大学サンディエゴ校	カリフォルニア大学サンディエゴ校	
	木下裕太(グローバル教育センター准教授)	-	-	
	須永隆広(グローバル教育センター講師)	-	フィリピン中央大学	
	三上洋介(グローバル教育センター助教)	-	-	
	武佐モハンマド(グローバル教育センター助教)	-	-	
第二外国語	ドイツ語	小林将輝(スポーツ科学部教授)	ミュンヘン大学	ウィーン大学
	フランス語	山下尚一(グローバル教育センター教授)	アンジェ・カトリック大学	アンジェ・カトリック大学 パリ第4大学ソルボンヌ
	中国語	葉紅(グローバル教育センター教授)	聊城大学	聊城大学 北京師範大学 国立台湾師範大学
	韓国語	朴昌明(法学部教授)	延世大学 東西大学	東西大学
	日本語	杉本美穂(グローバル教育センター講師)	-	-

## 語学検定試験の受験料補助

駿河台大学では、下記の表にある語学検定試験を受験した学生に同窓会から受験料補助が支給されます。詳細な情報はグローバル教育センター掲示板・ポータルサイト(ポタロウ)にてお知らせします。ぜひみなさんも挑戦して、語学力を磨きましょう!

言語	対象試験	級
英語	TOEIC(公開テスト・IP)	-
	英検	2・準2・準1
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	2~5
フランス語	フランス語技能検定試験	2~5
中国語	HSK中国語検定試験	1~6 口試中級
	中国語検定試験	2~準4
韓国語	韓国語能力検定 TOPIK	1~6
	ハングル能力検定	2~5
日本語	ビジネス日本語能力テスト BJT	-
	日本語能力試験 JLPT	N1・N2

秋学期にTOEICとHSKは学内試験も開催する予定です。

# 短期留学(海外語学演習)紹介

短期留学は、「海外語学演習」として、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。

## 特徴

1

夏休み・春休みの3~4週間を利用して、提携機関の充実したプログラムへ参加します!

駿河台大学で開講している全言語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)で、提携する海外研修機関があります! 語学プログラムのほか、観光ツアーや文化体験イベントなども充実しています。プログラムの詳細は、『短期留学提携校』一覧表およびガイダンスで確認してください。

### 『海外語学演習』情報の入手先

- 留学リーフレット『New Adventures』
- ガイダンス(ガイダンス配付資料は、グローバル教育センターでも閲覧できます)
- シラバス(『海外語学演習』の各語学欄を参照のこと)
- 過去の先輩たちの「短期語学研修参加者アンケート」(グローバル教育センターで閲覧可)

2

履修登録と必要な手続きをすることにより、原則誰でも参加が可能!

履修登録をしていない学生は、参加することができません。また、翌年度以降も何度でも参加することができます。授業期間中に行われる事前指導(全15回)とセットで、帰国後は4単位が付与されます。

3

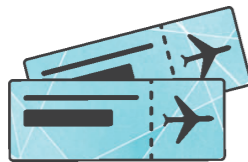
担当教員と、1学期間かけて綿密に準備!

夏休みに参加する場合は春学期に、春休みに参加する場合は秋学期に、担当教員が1学期間をかけて、留学手続きや語学学習、現地での生活などの事前指導を行いますので、安心して出発することができます!

4

5万円の奨励金を支給

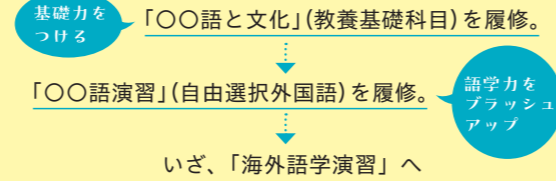
留学にかかる費用は全額自己負担となりますが、5万円の奨励金を大学から支給しています。参加費用の目安は『短期留学提携校』の一覧表で確認してください。



## 参加までの流れ

まずは、必修の外国語科目をきちんと受講!

履修していない外国語圏に参加したい場合は、こうしよう!



Step 1

### 「海外語学演習ガイダンス」に参加

「海外語学演習ガイダンス」は、3月末~4月初旬のガイダンス期間中に実施します。詳しい日程は、「2025年度行事予定表」をチェック!

Step 2

### 「海外語学演習」を履修登録

履修登録期間に必ず履修登録を! (履修登録をしない場合、参加できません。) 履修登録の方法が分からない場合は教務課またはグローバル教育センターへ。

Step 3

### 「第1回事前指導」に参加

新学期の授業開始週に行います。2回目以降の事前指導スケジュールを決定しますので、必ず参加してください。日程・場所は、ポタロウで確認してください。

Step 4

### 2回目以降の事前指導に参加

短期留学プログラムへの留学手続きや語学指導、現地生活のアドバイスなどを行います。決められたスケジュールどおりに準備をしていきましょう!

Step 5

出発

Step 6

帰国

担当教員へプログラム終了と参加の報告をしてください。アンケートや体験報告会への協力もお願いします!

帰国後のオプション

- ▶ 「〇〇語演習」(自由選択外国語)で、さらに語学力を磨きかけることもできます。
- ▶ もちろん、長期留学にチャレンジすることもOK! 可能性を広げよう!

『海外語学演習』の事前指導内容はコレだ!

春学期授業計画			
第1回	海外語学演習プログラムの概要	第9回	日常生活のマナーと表現(1)
第2回	現地の社会と文化(1)	第10回	日常生活のマナーと表現(2)
第3回	現地の社会と文化(2)	第11回	手続き等の説明と指導(3)(航空券手配)
第4回	外国語でのあいさつと自己紹介	第12回	現地の地理・交通
第5回	手続き等の説明と指導(1)(入学申込)	第13回	大学と参加プログラムについて
第6回	旅行会話(1)	第14回	手続き等の説明と指導(4)(保険手続き)
第7回	旅行会話(2)	第15回	まとめ
第8回	手続き等の説明と指導(2)(ビザ申請)		

- 春休み期間中に研修が行われる場合は、秋学期に履修登録・事前指導を行います。
- 表は一例です。参加する海外語学演習により、事前指導の内容は異なります。

# 短期留学提携校

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変わります。

英語	<p><b>カンタベリー・クライスト・チャーチ大学</b> ケント州カンタベリー(英国)</p> <p>コース名:一般英語サマースクール 研修期間:8月(3週間) 研修費用:90万円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初学者から英語を学べる数少ない英国の大学です。</p> 	英語	<p><b>カリフォルニア大学サンディエゴ校</b> カリフォルニア州ラ・ホヤ(米国)</p> <p>コース名:Conversation and Fluency 研修期間:8月(4週間) 研修費用:US\$7,000前後(約100万円程度)(授業料・渡航費・現地滞在費用を含む) 太平洋を臨む広大なキャンパスで、自然な英語での会話やアメリカ文化を学ぶ。文法や語彙力の向上を図る授業に加えて、学生たちは他の留学生や現地学生、コミュニティの人々で構成される。UCSD英会話リーダーと交流する機会もある。研修期間中は大学内の寮かホームステイを利用。治安も良好。</p> 
英語	<p><b>フィリピン中央大学</b> ビサヤ諸島パナイ島・イロイロ市(フィリピン)</p> <p>コース名:一般英語コース(General ESLコース) 研修期間:2月(4週間) 研修費用:40万円程度(授業料、寮費、1日3食込み) 費用が安く、TOEICなどの条件なしで参加できるプログラム。マンツーマンレッスンを中心に基礎的・実用的な英語力の向上を目指し、最後の1週間はインターンシップを経験する。研修期間中は英語研修センターの寮に宿泊。</p> 	ドイツ語	<p><b>ウィーン大学</b> ウィーン(オーストリア)</p> <p>コース名:国際ドイツ語コース 研修期間:8月(4週間)もしくは9月(3週間) 研修費用:60万円程度 外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。月~金の午前中に授業。午後には美しいウィーンの街の散策ができ、週末には観劇や美術館訪問、それに遠出もすることができる。</p> 
フランス語	<p><b>パリ第4大学ソルボンヌ</b> パリ(フランス)</p> <p>コース名:フランス語・フランス文明講座(夏期講座) 研修期間:8月(4週間) 研修費用:55万円程度(参考・2023年度) 外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。</p> 	フランス語	<p><b>アンジェ・カトリック大学</b> アンジェ(フランス)</p> <p>コース名:夏期講座8月コース 研修期間:8月(4週間) 研修費用:75万円程度(授業料・渡航費・現地滞在費用を含む)(参考・2024年度) 最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。各クラス10~20名程度。文法、会話、語彙、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。</p> 
中国語	<p><b>北京師範大学</b> 北京(中国)</p> <p>コース名:夏季短期コース 研修時期:7月下旬より3週間と4週間の2コースあり 研修費用:35万円程度、留学生宿舎(2人部屋)の宿泊 5名~15名の少人数クラス、初心者でも無理なく学べる。課外活動として、京剧や雑技の鑑賞と万里の長城、天壇公園など訪れる。</p> 	中国語	<p><b>国立台湾師範大学</b> 台北(台湾)</p> <p>コース名:短期語学研修 研修期間:2月上旬より3週間 研修費用:35万円程度、2人~3人部屋 レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。</p> 
中国語	<p>リャオチン <b>聊城大学</b> 山東省聊城市(中国)</p> <p>コース名:中国語短期研修プログラム 研修期間:8月下旬より2~3週間程度 研修費用:22万円程度(授業料、宿泊料免除) 長期留学では本学と20年以上の交換留学の実績がある。2019年度より海外語学演習の受け入れを開始。手ごろな費用で行きやすい機会を提供。研修期間中は、午前中に授業、午後は交流の時間となる。中国は9月から新学年のため、キャンパス内は賑わい、他の国の留学生や地元の学生と交流することができる。宿泊は留学生寮。キャンパス内外の食堂、レストランが充実。自炊もできる。日本人がほほいなので、本気で中国語の力を身に付けたい学生に最適。</p> 	韓国語	<p>トンソ <b>東西大学</b> 釜山(韓国)</p> <p>コース名:文化体験研修 研修期間:2月中旬から2週間程度程度の予定 研修費用:30万円程度 月曜日から金曜日まで午前3時間、午後4時間の研修が行われる。韓国語学習については初級者も学べるプログラムになっており、文化体験は伝統工芸・料理・テコンドー体験、釜山・周辺地域観光など豊富である。また、東西大学の学生との交流会もある。</p> 

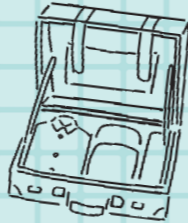
留学体験

2024年度送り出し留学生帰国報告

# STUDENT REPORT

留学して経験したこと、得たもの……

2024年度送り出し留学生帰国報告



## 多くの学びを得た留学生活



左側が堀切さん

聊城大学 (中国)

交換留学生

留学期間：2024年2月～2025年1月  
心理学部3年 浦和学院高等学校出身

ホリキリユウスケ  
堀切雄介

聊城大学での生活は非常に意義深く、母国では経験できない多くのことを学ぶことができました。日本とは生活スタイルや常識が異なる部分もありましたが、だからこそ多様な価値観に触れることができました。例えば、現金やカードがほとんど使えず、QRコード決済が主流であることや、チャットでの日常会話で返信速度が異なる点に驚きました。

中国語の勉強は初級クラスから始め、最終的には上級クラスに進みました。勉強を続けるうちに、中国語での会話がスムーズにできるようになり、振り返ると、中国に来たばかりの頃は、ほとんど話が聞き取れなかったことを思い出します。

中国で中国語を学ぶ楽しさの一つは、学んだ言葉をすぐに日常生活で使えることです。授業中はもちろん中国語を学びますが、授業外のほとんどの時間でも中国語を使って会話をするため、一日全体が勉強のような感覚です。このよ

うにすぐに使える環境があることは、言語学習において非常に重要だと感じました。そのほかに、筆を使って絵を描く授業も非常に気に入っていました。毎回テーマが設定され、それに沿って絵を描いていくプロセスが楽しく、中国らしい絵が完成するたびに感動しました。

そして、日本の大学とは異なり、運動会があることには驚きましたが、その規模の大きさや内容の面白さに魅了されました。他の学部の学生と一緒に、私たち留学生も行進に参加しました。本番前には授業後に集まって練習し、その甲斐あって本番はうまくいきました。

さらに、大学創立50周年記念のイベントに参加できたことも、とても幸運だったと思います。留学生として歌のパフォーマンスを披露する機会をいただき、何度も練習を重ね、最終的には納得のいくパフォーマンスができました。中国のイベントはどれも規模が大きく、華やかな印象が残っています。



左側が堀切さん



左側が堀切さん

## UCSD での経験はこれからの人生の糧



中央が猪野さん

カリフォルニア大学サンディエゴ校 (アメリカ)

派遣留学生

留学期間：2024年3月～2024年9月  
心理学部 2024年度卒業 足利大学附属高等学校出身

イノアカリ  
猪野朱里

私は半年間カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) に留学をしました。留学の目的は、英語を話せるようになり、現地で友達を作ることでした。アメリカでの生活は初めてだったため、最初は不安でいっぱいでしたが、UCSDでの毎日はとても充実していました。

留学中は毎日多くの宿題に追われ、テスト勉強やパワーポイントの作成などもあり、非常に忙しい日々を送りました。クラスのレベルが上がるにつれて英語を話す力が向上していく一方で、授業の内容もどんどん難しくなりました。それでも、UCSDの先生やスタッフはとても親切で、授業が合わないと感じた場合は別のクラスに変更してくれるなど、柔軟に対応してくれました。また、私に合った個別指導をしていただけの機会もあり、とても助かりました。このようなサポートのおかげで、アメリカでの生活や英語学習の難しさに直面しながらも、少しずつ自信をつけていくことができました。

特に思い出に残っている授業は「Culture and Fluency」というクラスです。この授業では、アートや古代文明、文化について学びながらプレゼンテーションを行いました。クラスにはレベル4から8の学生が集まっており、私はレベル4だったため最初は内容が難しく感じられました。しかし、毎回のグループディスカッションではクラスメートと意見を交換し、プレゼンテーションでは全員の前で英語で発表するという経験を通して、スピーキング力に自信を持てるようになりました。

留学当初は、自分の英語力に対する自信がなく、英語を話すことに不安や恥ずかしさを感じていました。しかし、この経験を通じて、「失

敗を恐れずに堂々と話すこと」が重要であると学びました。たとえ些細な間違いをしても気にせず、積極的にコミュニケーションを取る姿勢を身につけたことで、友達と自然に会話を楽しめるようになりました。この結果、留学の目標だった「友達を作ること」を達成することができ、今でもSNSを通じて現地の友達と連絡を取り合っています。

半年間の留学生活は、私にとって英語力を磨くだけでなく、異文化理解や自己成長の大きなきっかけとなりました。UCSDでの経験は忘れられない思い出として、これからの人生の糧となることと確信しています。



後列左から3人目が猪野さん

## 留学での成果



後列右側が大野さん

アンジェ・カトリック大学 (フランス)

派遣留学生

留学期間：2024年9月～2025年1月  
法学部3年 山梨県立白根高等学校出身

おおのこうしん  
大野煌心

9月は5人ほどの集中コースに参加し、10月からは17人ほどの授業に参加した。クラスは中国やベトナムをはじめとするアジア人からメキシコ人やアメリカ人、エジプト人などもいた。授業は会話表現、リスニング、発音矯正、文法、長文理解の中から4つ選択でき、会話がメインの授業は少人数で構成されており先生や他の生徒と話しやすかった。

さらに大学が主催のアクティビティでモン・サン・ミシェルやノルマンディーの観光も日帰りで行うことができ、いい経験と学びの場となった。旅行というより歴史学習が多かったが、丁寧な説明とバス移動などのサポートがあったため楽しむことができた。

特にノルマンディーでは上陸作戦に関する戦争博物館や、実際に作戦が行われた場所を見学したことでさらにフランスについての興味が広がった。

ホストファミリーとは初めは全く話せず生活しづらかったが、アニメや日本食の話題から日常会話を覚えていった。また、フランスは日曜日のみ店が空いていないことや9月中は日本より日照時間が長く夜まで明るい生活リズムに慣れることが大変だった。さらに挨拶は基本で店に入る時、出る時に毎回店員に言う文化があった。初めは言わなきゃいけないと思い、違和感があったが慣れると生活の一部になっていた。そういう一面でも文化に触れると思うと外出するのも楽しくなった。

ステイ先の Angers にサッカーとフィールドホッケーとアイスホッケーのチームがあり休日は、スタジアムへ行き試合を観戦することが多かった。

またフランスは歴史と芸術の国なので美術館や城、教会などを観光することが多かった。EU圏の学生は留学生であっても入館料が無料となる施設が多くルーブル美術館やオルセー美

術館などのフランスを代表するところも対象だったので気軽に行くことができた。それらの美術館は規模が違い、国や時代を超えた多くの作品があり、芸術に疎い私でも興味がある分野を見つけ楽しむことができた。

留学中に1番学べたことは、自分の意思は言葉に出さないと伝わらないということだ。ホストファミリーはなんとなくの行動で察してくれることが多いが、先生や店の人にはわかってもらえないことが多い。控えめな日本人と違い、思ったことははっきり言うのがフランス人だと思った。しっかり喋れなくても相手は理解しようとしてくれるので、まず話してみることが大切だと思った。

留学前は治安が悪く、人にも冷たいものだと思っていたが、日本と変わらず人に寄り添ってくれる人が多かったのが驚いた。

最後に留学を通して様々な経験をできたことは、駿河台大学をはじめとする多くの人の助けがあったからこそ実現したと感じている。



# New Challengers 2025

～2025年度、新たな冒険者たち～

2025年度留学を開始する送り出し留学生が  
出発に向けて意気込みを語ってくれました。



左側が黒崎さん

## 長期留学が導く 自身の成長

カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）

派遣留学生

留学期間：2025年3月～2025年12月  
心理学部2年 福岡高等学校出身

くろさきともか  
黒崎友馨

私は3月からカリフォルニア大学サンディエゴ校へ長期留学へ行きます。今まで何度も留学を夢見ましたがコロナウイルスの影響で叶えることができませんでした。やっと掴めたこのチャンスを、今後の私の人生に活かせるように努力したいと思います。

長期留学中の目標として、まずは語学力の向上です。私自身の欠点として、文法をしっかりと覚えられていないこと、またそれに伴い言いたいことを直ぐに文章にできないことが挙げられます。サンディエゴ校では、これらの苦手意識を減らすことができるように、改めて文法の勉強をし直し、日々の英会話の中でアウトプットをしたいと思います。

2つ目は心理学の知識を深めることです。私が大学で学びたいと考えている犯罪心理学は、心理学の中でも応用性が高い分野です。もちろん日本でも心理学を学ぶことは可能ですが、より法的執行機関が充実し大衆に広まっているアメリカという地で基礎を固めつつ、深い学びに繋がりたいと考えています。実際、サンディエゴ校では特に私が学びたいと考えている犯罪心理学を専攻としている教授が多くいらっしゃると聞いています。普段の語学クラスとの両立は難しいと思いますが、帰国後の専門科目の履修や、その後の研究等に役立てていきたいと思っています。

慣れない環境での生活に不安な面も多ありますが、帰国

後の私が、今よりもレベルアップした私になれるように、何事にもチャレンジしていきたいと思います。また、現地の方々と積極的に交流をすることで、多くの考えや文化に触れ、自分の中の価値観を見つめ直す機会にしたいと思います。私にとってのこの長期留学は、語学力の底上げだけでなく、専門分野の学びの向上、さらに精神的にも大きく成長できる場にしたいと考えています。この長期留学の経験を今後活かせるように、日々頑張っていきたいと思っています。



左側が黒崎さん



## 日本とドイツの違いと 共通点を知る留学

ミュンヘン大学（ドイツ）

派遣留学生

留学期間：2025年3月～2026年2月  
経済経営学部3年 多摩工科高等学校出身

かすやりの  
粕谷梨織



右側が粕谷さん

私が今回留学を決意した理由は、ドイツという国への興味からです。その興味の背景には、私が教職を取得する過程で学んだ教育制度や、大学で学んだ法律の知識が大きく関係しています。日本の教育制度はドイツの教育制度を基にして作られており、例えば、学問の自由や義務教育の理念など、ドイツの影響を色濃く受けていることを知りました。また、日本国憲法の一部もドイツ法を参考にしていることを学び、ドイツという国が日本に与えた影響の大きさに感銘を受けました。この歴史的な繋がりを深く知ることで、日本の制度や文化への理解をさらに深めるきっかけになるのではないかと考えています。

さらに、私はドイツ車への興味も強く、BMWやアウディ、フォルクスワーゲンといった世界的な自動車メーカーの車は、日本の自動車産業にも大きな影響を与えたと言われており、そうした技術力の源泉となる国での生活や文化に触れることに期待しています。また、自動車産業に限らず、ドイツの職

人気質や固いといわれる考え方といった価値観にも興味があり、それが日常生活にどのように表れているのかを実際に体感したいと考えています。

留学を通じて、異文化での一人暮らしによる言語や文化が異なる環境での生活は、自身の成長につながると思っています。ドイツのビールやソーセージといった名産品を楽しむこと、ドイツ博物館などの歴史的・文化的施設を訪れることも楽しみの一つです。特に、ドイツの建築や博物館で日本とドイツの違いや共通点を見つけることは、私の知識や視野を広げることのできる貴重な機会になると考えています。

また、ドイツは治安が比較的良く、日本と似た秩序を重んじる文化があると聞いています。その一方で、言語や生活習慣は大きく異なり、そうしたギャップをどのように感じ、克服していくのかという挑戦にも興味があります。地域や文化圏の違いを肌で感じながら、これまで日本では経験できなかった新たな視点を得られることに期待しています。

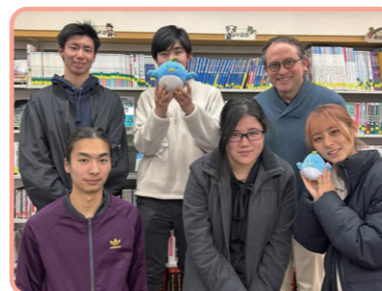
## 新しい環境に対する 1つのステップ

カリフォルニア大学サンディエゴ校  
（アメリカ）

派遣留学生

留学期間：2025年4月～2025年12月  
東京都立千早高等学校出身

まつおかじょう  
松岡定



前列左側が松岡さん

私がアメリカへの留学を決めた理由は、異文化や言語への強い興味と、大学時代の短期交換留学で得た「国際交流の喜び」にあります。短期留学中、現地の学生や教授との対話を通じて、文化の違いが新たな視点や創造性を生むことを実感しました。例えば、グループワークで日本人とは異なる意見の出し方や議論の進め方に触れ、自分の考え方の枠が広がる経験をしました。このような「違いから学ぶ楽しさ」をもっと深く味わいたいと思い、長期留学を決意しました。

留学期間中は、まず英語力を実践的に高めることを目標とします。授業でのディスカッションやプレゼンテーションに積極的に参加し、専門知識を英語で学ぶ力を身につけたいです。また、現地の学生や教授と深く関わり、彼らの考え方や価値観を学ぶことも重要だと考えています。例えば、キャンパス内外のイベントに参加したり、ボランティア活動に携わったりすることで、現地の生活や文化をより深く理解したいです。さらに、多様な背景を持つ人々と協力する経験を通じて、チームワークやリーダーシップのスキルも磨きたいと思っています。

将来の具体的な目標はまだ定まっていますが、留学で得た「異文化を理解し、つなぐ力」を基盤に、グローバルな視野を持ち続けたいと考えています。語学力やコミュニケーション能力だけでなく、多様性を尊重する姿勢や、困難に挑戦する勇気は、あらゆる場面で活かせる財産です。例えば、文化の違いを「障壁」ではなく「相互理解のきっかけ」に変え、人と人との架け橋となるような活動に携わりたいという思いがあります。

留学は単なる「海外での学び」ではなく、自分自身を成長させるための挑戦です。現地での生活や学びを通じて、自分の強みや弱みを再発見し、将来の可能性を広げたいです。まだ具体的なビジョンは漠然としていますが、この経験が私の人生の基盤となり、新たな価値観を受け入れる柔軟性を育むと確信しています。

留学で得た知識や経験は、私の未来を形作る大切な要素です。その先に待つ世界を、一歩ずつ着実に歩いていきたいと思っています。



# 私達の日本留学記



2024年度、受入留学生からの留学感想

## 異国の地で見つけた 日本の魅力と自分自身の成長

ミュンヘン大学 (ドイツ) 交換留学生

留学期間：2024年4月～2025年3月

EDELMANN CLARA (エデルマン クララ)

私にとって、この一年間はとても重要な年でした。日本に留学することで、言語や文化の違いを感じる日々が続きましたが、それ以上に自分自身について多くのことを学び、自分自身を超えて成長することができました。

最初は日本語に不安を抱えていました。言語の壁は思った以上に高く、簡単な会話でさえも苦労しました。しかし、言葉を学びながら日々の生活に挑戦し続ける中で、少しずつ自信がついてきました。最初は外国人として異国の地に溶け込むことが難しいと感じていましたが、時間が経つにつれて、現地の人々との会話もスムーズにできるようになり、言葉を通じて感じる喜びが大きくなっていきました。私は自分の殻を破り、勇気を持って人々と関わることができるようになったのです。

日本の街並みや文化も、私にとって大きな発見でした。日本では伝統と最先端技術が見事に調和している点に感動しました。古い神社や寺院が街の中に自然に溶け込んでいる光景や、細やかな

配慮を感じる接客に、私は文化の奥深さを実感しました。また、日本の人々の温かさや、誠実な態度にも心を打たれました。「おもてなし」の精神に触れることで、私自身も他者に対してもっと優しく接するようになり、思いやりの大切さを学びました。

この一年間を通して、私は異なる文化や価値観に触れ、自分の固定観念を打破することができました。日本での生活を通して、異文化に対する理解と尊重の重要性を深く感じ、柔軟な思考を持つようになりました。また、困難に直面した時にそれを乗り越えることで、自信を持つことができました。

日本での留学は単なる学びの場ではなく、私自身を成長させるための貴重な経験でした。言語や文化の壁を越えて、自己を超える力を得ることができたことに感謝しています。この経験を活かして、これからの人生や仕事に役立てていきたいと思っています。



前列中央がクララさん

## 充実と成長 私の日本留学の旅

聊城大学 (中国) 交換留学生

留学期間：2024年4月～2025年3月

ZHANG ZIYI (チョウ シユウ)

もうすぐ帰国するこの時期、これまでの日本での留学生生活を振り返ると、素晴らしい思い出が次々と浮かんできます。この一年間は、まるで一本の映画のようで、いろいろな挑戦と成長、そして感動に満ちていました。数え切れないほどの困難を経験した後、今の私は以前よりも自信になったと感じています。この変化は、不安に思っていたはじめての体験や、それを乗り越えた日々の積み重ねのおかげです。

日本に来たばかりの頃は、毎日が新しい挑戦でした。慣れない言語と文化に戸惑うことが多かったです。電車の路線図を理解することさえ難しく、最寄り駅から迷わず帰るだけで達成感を覚えたほどです。また初めてスーパーで買い物をした時は、商品の書類が多すぎて、日本語で書かれたラベルを読むのに時間がかかりました。しかし、こうした小さな一つ一つの経験が、私にとって大切な一歩でした。

その後、私は飯能市国際交流協会が主催する活動に参加しました。このおかげで日本語を使って交流する機会が増えました。そ

して交流会の皆さんのおかげで、日本の伝統文化をたくさん体験することができました。茶室で茶道を体験したり、一緒に花見をしたり、生け花に挑戦したりしました。また、グローバル教育センターが企画してくれたいろいろなイベントにも参加しました。たくさんの記念に残る写真を撮ることができ、とても楽しかったです。この中で新しい知識を学ぶだけでなく、自分で実際に体験してから、深い印象が心に残りました。とても貴重な体験で、意味のある時間を過ごせたと思います。

私の留学生生活を一言でまとめると、とても充実していて楽しいものでした。そして無事に終えることができました。学校の皆さんや先生方が温かく接してくださり、たくさん助けてくれたおかげです。不安を取り除いてくれたこと、本当に感謝しています。留学生活での成長を活かして、これからの人生にしっかり向き合っていきたいと思っています。



右から4人目がチョウさん



グローバル教育センター